



塗装業「火山」代表 土屋 国彦さん(48)

2020年9月、家族4人で埼玉真川越市から上野村に移住した。移住先に選んだ理由は、山に囲まれた自然環境と、村民の温かさに引かれたから。妻も快諾してくれた。村民から採れたての新鮮な野菜をおすそ分けしてもらったり、地域活動を通じて交流したりするなど、充実した生活を送っている。

塗装業の経験は20年。村内に専門業者がいないことに気づき、

魅力はシンプルな暮らし

23年8月に個人事業として開業した。個人宅や村営施設の塗装を手がけ、特に屋根塗装の依頼が多い。「お客さんが喜んでくれるのがいい」と語る。

同村の最大の魅力はシンプルな暮らしと子育てのしやすさ。「インターネットを活用すれば買い物も不便ではなく、周囲の大人たちに見守られながら安心して子どもを育てられる環境が魅力」と話している。



「峠のうどん屋」経営 佐藤 勝さん(65)

前橋で経営していた洋食店に区切りを付けて帰郷。2023年6月、休業していたうどん店を再開した。上野村と南牧村を結ぶ峠越えの道沿いの店は、常連のオートバイ愛好者らでにぎわう。

創業者は祖母、両親が継ぎ、手打ちの太麺に野菜の天ぷらをのせた「天ぷらうどん」が人気の有名店となった。だが21年に父が死去。一人になった母が心配だったことや、自身の

人間らしい生活できる

「自然が豊かなのは言うまでもないが、せかせかしてないのがいい。人間らしい生活を送り、好きなことができるというし、移住を考えると人に向けて「1年くらいかけてこの暮らしを体験しながら考えてみて」とアドバイスする。

Iターン・Uターン続々 「起業」の夢かなえる

だからやっぱり上野村



本県の南西部深い森に抱かれ澄みきった空気と清らかな水に満たされ、緑あふれる上野村。夜になれば手が届きそうな満天の星空。四季折々に表情を変える山々の美しさは訪れる人の心を強く揺さぶる。

この村には、ただ訪れるだけでは終わらない魅力がある。さまざまなアクティビティとともに「うえのテロワール」とも言える癒やしの空間を求めて多くの人々が足を運ぶ。その魅力に引かれ、「ここで生きる」と決断して移住する人も増えている。人口およそ千人の小さな村でありながら、その約2割が村外出身者である。移住者も、この村で新しい一歩を踏み出している。村を離れても帰郷し、家を建てた人も、この村で新しい一歩を踏み出している。

「この村には、ただ訪れるだけでは終わらない魅力がある。さまざまなアクティビティとともに『うえのテロワール』とも言える癒やしの空間を求めて多くの人々が足を運ぶ。その魅力に引かれ、『ここで生きる』と決断して移住する人も増えている。人口およそ千人の小さな村でありながら、その約2割が村外出身者である。移住者も、この村で新しい一歩を踏み出している。村を離れても帰郷し、家を建てた人も、この村で新しい一歩を踏み出している。」

また、群馬県唯一の脱炭素先行地域として、エコな暮らしが根付く「エコイノベーション」の村のあり方が移住の一つの動機となる。移住体験ハウスも整備し、移住を志す人々に伴走的に寄り添い、移住から定住という流れを促進する。

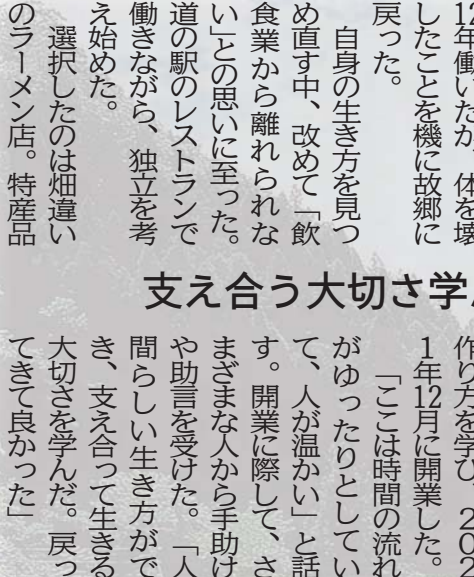
上野村は、自然とともに生き、人とつながり、未来を描くことができる場所である。ここでは、人生を豊かにする「本物の暮らし」がある。

誰かが主役となって幸せに暮らせる村に 上野村長 黒沢八郎

移住、またUターンされた方、自ら起業、継業される方が生まれています。そして、それらの皆さんの意欲とバイタリティーが、村に大きな活力を呼び込んでいます。

さて、本村では広大な面積が焼失する山林火災が発生しました。連日わたる消火活動では、協力して地域社会を守るとい、強い思いが結集しています。また、県内各地からの応援派遣をいただき、ご支援への感謝は尽きません。

外とのつながりと、温かいお支えを大切に、人と人が助け合い、つながり合い、誰もが主役となって幸せに暮らせる村づくりを進めてまいります。



ラーメン店「麺屋十石」経営 今井 寛幸さん(45)

高崎の料理学校を卒業した後、イタリア料理の仕事を始めた。埼玉や長野を経て、東京のレストランに勤務。自身の生き方を見つめ直す中、改めて「飲食業から離れたくない」との思いに至った。道の駅のレストランで働きながら、独立を考え始めた。

支え合う大切さ学んだ

自身の生き方を見つめ直す中、改めて「飲食業から離れたくない」との思いに至った。道の駅のレストランで働きながら、独立を考え始めた。

「ここは時間の流れがゆったりとしていて、人が温かい」と話す。開業に際して、さまざまな人から手助けや助言を受けた。「人間らしい生き方ができ、支え合って生きる大切さを学んだ。戻ってきて良かった」



「カフェむく」経営 川口まどかさん(47) 相馬 恵子さん(69)

川口さんは2022年、息子2人と共に東京から移住した。きっかけは当時小学生だった長男(13)の山村留学。自身も都心での暮らしに生きづらさを感じていたことが理由の一つだった。

人々の温かさに触れ、「地域とつながりたいたい」とカフェをオープン。こだわりのコーヒーや特産のインフタを使ったメニューが人気で、憩いの場になっている。4月から村を離れるが「ありのまま

地域との関わりより深く

まの自分でいられる場所。今後ともつながりを持ち続けたいと語る。引き継ぐ相馬さんは上野村出身。都内の高校に進学後は、埼玉県で暮らしていた。「地元でのんびりしたい」との希望で約50年ぶりに帰郷。都会のような便利にはないが「何でも自分でやる生活は新鮮。誰もが何かと気にかけてくれる優しさ」がうれしく、店を通じて交流を深めたいと準備を進めている。

上野村は移住・定住を希望する方に向け、多様な支援制度を用意しています。



上野村商工会は村内商工業の総合的な発展を目指して、さまざまな形で会員をサポートしています。



白と木工品のお店
ウッディー上野村銘木工芸館
多野郡上野村大字勝山127
Tel.0274-59-2019
オンラインショップはこちら

美人の湯 日帰り温泉 **浜平温泉 | おどの湯**
Tel.0274-59-3955
多野郡上野村権原3487-2
https://www.shiojinyu.com/

川の恵みのメッセンジャー!!
ヤマメ イワナ アユ
上野村漁業協同組合
多野郡上野村大字権原316-1
Tel.0274-59-3155

上野村で空中散歩
人と自然がもてなす小さな村
株式会社 上野振興公社
多野郡上野村勝山684-1 Tel.0274-59-2584
http://uenomura-tabi.com

旅する上野村
人と自然がもてなす小さな村
株式会社 上野振興公社
多野郡上野村勝山684-1 Tel.0274-59-2584
http://uenomura-tabi.com

地域の力 応援キャンペーン ぐんま愛 協賛社

(順不同)
